

「いのち」の教育実践事例

☆飯豊町立添川小学校の実践☆

生命の継承の
大切さに
関する教育

— 「いのち」の輝きをめざす、地域に根ざした豊かな体験活動—

地域の方々とのかかわりや自然に親しむ体験的な活動を通して、ふるさとを愛しふるさとを誇る心を育み、自然を守り育てるという意識と態度を育む取組みを行っています。その実践の一部を紹介します。

○ すくすく緑園（里芋植え・収穫）

- ・作物を育てる活動を通して、作物の育て方や成長の様子に関心を持ち、命あるものを大切に育てようとする態度を養うことをねらいとして活動した。
- ・休耕田およびプール跡地を利用して、全校児童で里芋栽培に取り組んだ。6年生が畑の先生方から苗の植え方を事前指導してもらい、当日は、畑の先生が見守る中、6年生が縦割り班の下級生たちに教えながら作業を行った。
- ・10月末には畑の先生の指導の下、全校生で喜びを感じながら収穫作業を行った。栽培活動を通して、地域の方々とのつながりや「いのち」の大切さについて学ぶことができた。

（11月には、さまざまな学習活動でお世話になった方々をご招待し芋煮をふるまう「収穫祭」を予定していたが、諸事情により中止となった。）

○ 緑の少年団活動としての「学校林活動」

- ・学校林の中での活動することで、自然に触れながら木々に対する親しみをもち、「緑に親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる心」を養うことをねらいとして活動した。
- ・「美しいやまがた森林活動支援センター」の方々を講師に迎え、育てる木のマーキング、除伐・枝打ち・枝集めを行ったり、ネイチャーゲームを通して木について学習したりした。
- ・活動後の感想には、自分で選んだ木で作業したことにより湧いてきた「自然を大切にしていきたい」という思いが多く綴られていた。



こんなふうに
植えるといい
んだよ。

元気に大きく成
長してほしいな
あ。
これからがんばっ
てお世話しよう！



暑い夏も一生懸命
みんなで水をかけ
た甲斐があったな
あ。



初めてののこぎり、緊張す
るなあ。
木について学んだことは、
低学年に教えたり、家族
に話したりしたいな。



森では、人の声よ
りも、虫や動物の
声がたくさん聞こ
えるなあ。

